

くらしの 情報館

ホームページアドレス
http://www.city.shirakawa.fukushima.jp/
☎=問い合わせ先
内=内線番号
◇本庁舎 八幡小路7-1 ☎②1111/Fax⑦2577
◇表郷庁舎 表郷金山字長者久保2 ☎③2111/Fax③2234
◇大信庁舎 大信増見字北田58 ☎④2111/Fax④2409
◇東庁舎 東釜子字殿田表50 ☎③42111/Fax③43584

募集

ぐるり白河文化遺産めぐり

白河の文化遺産や歴史的建造物をめぐるツアーとスタンプリーを開催します。

《ツアー》
●日時 4月9日(土)／午前9時～午後0時30分
●テーマ 街なかの桜の名所と歴史的建造物
●定員 40人 ※要予約
●参加料 500円
《スタンプリー》
●日時 4月9日(土)～24日(日)

／午前10時～午後3時
●内容 すべてのスタンプを集めた方に賞品をプレゼント ※先着順
●申し込み・問い合わせ先 本庁舎まちづくり推進課 内2743

案内

ふれあいパスの更新

高齢者や障がい者の方等に交付している「白河市ふれあいパス」の有効期限は、3月31日(木)までです。引き続き、こみねっと(市循環バス)、表郷地域巡回バス、大信地域自主運行バス、東地域巡回バスを利用される方は、更新手続きをしてください。

●更新に必要なもの 利用中のふれあいパス、健康保険証など本人確認ができるもの(障がいのある方は手帳など)
●申し込み・問い合わせ先 本庁舎高齢福祉課 内2722 / 各庁舎地域振興課 表郷 ☎③2114 大信 ☎④2114 東 ☎③42116

もうお済みですか？自動車、軽自動車の変更手続き

自動車税、軽自動車税は、毎年4月1日現在の車検証に登録されている内容で課税されます。使用していない、住所が変わった、他人に譲渡したなど、登録内容に変更が生じた場合は、3月末までに必ず所定の手続きをしてください。

移転や抹消の登録が行われていないと、平成28年度分も今年度と同様に課税されることになりますので、ご注意ください。なお、3月下旬は窓口が大変混み合いますので、お早めの手続きをお願いします。

区分	自動車税(県税)	軽自動車税(市税)
分類	・251cc以上のバイクを所有している方	・126cc以上250cc以下のバイクを所有している方 ・軽自動車を所有している方 ・原動機付き自転車 ・125cc以下のバイク ・小型特殊自動車を所有している方
注意事項	◎納税通知書は5月上旬に発送する予定です。 ◎被災された方は、減免等の対象になる場合があります。	◎軽自動車税には月割課税はありません。4月2日以降に名義変更しても1年分の軽自動車税が課税されます。 ◎納税通知書は5月中旬に発送する予定です。
移転・抹消登録などの窓口	福島運輸支局登録部門 ☎050-5540-2015 白河自家用自動車協会 ☎③3850	福島運輸支局登録部門 ☎050-5540-2015 白河自家用自動車協会 ☎③3850 軽自動車検査協会(軽自動車のみ) ☎050-3816-1837 県軽自動車協会(バイクのみ) ☎024-546-2577 白河自家用自動車協会 ☎③3850
問い合わせ先	県南地方振興局県税課 課税第二チーム ☎③1519	本庁舎課税課 内2128・2129 各庁舎地域振興課 表郷 ☎③2112 大信 ☎④2113 東 ☎③42112

※身体、知的、精神に障がいがある方で、一定の要件が満たされている場合は、申請により自動車、軽自動車のどちらか一台に限り減免されます。詳しくは、それぞれの窓口までお問い合わせください。

関山開き

関山(標高619m)の山開きが行われます。集合場所から硯石・内松登山口まで無料送迎バスを運行します。

●日にち 3月27日(日)
●受付時間・場所 午前8時～9時 / 関辺市民体育館
●駐車場 関辺小隣接地
●イベント 出発前にはシンガロングライター Laughy ザン・チームキビタン・しらかわんが登場、山頂では数量限定の記念守札や豚汁を提供

ごみの適正な「分別」と「排出」にご協力を

ごみ集積所は、利用する地域単位での管理となっていて、違反ごみが出されると、管理をする方に多大な迷惑が掛かります。違反ごみをなくし、市民の皆さんが気持ちよく利用できるよう、また、環境保全のためにも、ごみの適正な「分別」と「排出」にご協力をお願いします。

《ごみの出し方》
ごみは指定袋に入れて収集日の午前8時30分までに、指定の集積所に出してください。

粗大ごみは、グリーンセンターに自己搬入するか戸別収集により処分してください。

《集積所にせせないごみ》
法律で、次のごみは集積所に出すことができません(細かく砕いても回収できません)。それぞれの処分方法に従い、正しく処分してください。

- テレビ・冷蔵庫・冷凍庫・洗濯機・衣類乾燥機・エアコン 処分の際にはリサイクル券が必要となります。郵便局でリサイクル券を購入のうえ、自己搬入または戸別収集により処分してください。
- 農薬の空容器 家庭菜園やガーデニングなどで使用した農薬の空容器は、本庁舎生活環境課または各庁舎地域振興課で無料回収しています。キャップや容器をしっかりと洗浄したうえで、毎月1日または15日(休日の場合は翌日)に持参してください。

《平成28年度ごみ収集カレンダー》
ごみの収集日や分別の方法が分かる「ごみ収集カレンダー」を町内会を通じて各家庭へ配布しています。カレンダーは、本庁舎生活環境課・各庁舎地域振興課にもありますので、必要な方は各窓口にお越しください。

☎本庁舎生活環境課 内2165 / 各庁舎地域振興課 表郷 ☎③2112 大信 ☎④2113 東 ☎③42112

●届出場所 本庁舎市民課・各庁舎地域振興課・各行政センター(受け付けは、平日午前8時30分から午後5時15分まで)

●本庁舎市民課 内2158 / 各庁舎地域振興課 表郷 ☎③2113 大信 ☎④397 東 ☎③42113

国民健康保険入院時食事療養費の引き上げ

4月1日(金)から、所得区分で一般(低所得者および住民税非課税世帯低所得者以外)の方の入院時食事代の自己負担額が、360円に引き上げられます。

※一般区分の指定難病患者および小児慢性特定疾患患者は、変更前と同じ260円です。

☎本庁舎国保年金課 内21

下水道供用開始区域の縦覧

4月1日(金)から、新しく供用開始になる区域の縦覧を行います。

●日時 3月17日(木)～31日(木) / 午前8時30分～午後5時15分 ※平日のみ

●会場 本庁舎下水道課(2階)

●対象区域 老久保の一部、関辺松並の一部、北真舟1

異動の手続きを忘れずに

転勤や就職・進学などで住所が変わる場合には、住所異動届出が必要です。

転出はあらかじめ届け出をし、転入は転出日から14日以内に届け出をしてください。

《異動の手続き》
●届出義務者 本人、世帯主、親権者、代理人(委任状が必要)

●届け出に必要なもの マイナンバーカードもしくは通知カード、住基カードや運転免許証など顔写真付きの本人確認書類(お持ちでない方はお問い合わせください)に、転入者は転出証明書、転出者は国民健康保険証、印鑑登録証など

●届出場所 本庁舎市民課・各庁舎地域振興課・各行政センター(受け付けは、平日午前8時30分から午後5時15分まで)

●本庁舎市民課 内2158 / 各庁舎地域振興課 表郷 ☎③2113 大信 ☎④397 東 ☎③42113

案内

自殺対策強化月間

3月は、自殺対策強化月間です。毎年、多くの方が自ら命を絶っています。自殺に至る理由は様々ですが、自殺の直前にはほとんどの人が「うつ状態」など、精神障がいや精神的な不健康に陥っています。

最近元気がない、不眠が続いているなど、いつもと違う変化に気づいた場合は、当人の気持ちに寄り添い、速やかに心の相談窓口につないでください。

●心の相談窓口（健康増進課内） ☎272114

財務省福島財務事務所からのお知らせ

福島財務事務所では、次のような相談窓口や出前講座を行っています。

●多重債務・貸金業に関する相談窓口
●相談内容 多重債務・貸金

業者（ヤミ金融等）・預貯金口座の不正利用など

●開設時間 午前8時30分～午後4時30分 ※平日のみ

●相談専用電話 024-53310064

《出前講座の受け付け》

●講座内容 「なりすまし詐欺」等の金融犯罪被害の予防

※講演料は無料

●同事務所 ☎024-53510303

まちかど伝言板

一ごども坐禅会

春休みに坐禅体験をしてみませんか。

●日時 3月25日（金）/午前11時～午後1時

●会場 大統寺本堂（馬町）

●対象 小・中学生

●参加料 無料 ※おかげを留意しています。

●定員 30人 ※先着順

●申込方法 電話・FAX・Eメールでお申し込みください。

●申し込み・問い合わせ先 大統寺 ☎27223/FAX23

731/Eメール soutetsu7@yhb.ne.jp

市民天体観望会

望遠鏡を使って、月や木星、すばる星、ET星団などを観察します。

●日時 3月12日（土）/午後6時30分～8時

●会場 JR白河駅前駐車場（駅交番西側）

※曇りや雨の場合は中止します。天気ははっきりしない場合は、電話でご確認ください。

●参加料 無料

●白河天文同好会 小椋 ☎90-6785-2503

中心市街地活性化事業 ミニコンサート

《トランペット ムーディー小林》

●日時 3月20日（祝）/午後4時～5時

●会場 えきかふえSHIRAKAWA（郭内）

●入場料 無料

●福島県ミニコンサート実行委員会 遠藤 ☎090-1149617610

立教志塾講演会

●日時 3月22日（火）/午後6時30分から

●会場 りぶらん地域交流会 議室（道場小路）

●内容 ▽講演 「住友グムの今後と白河とのつながり」

▽講師 住友ゴム工業（株）執行役員工場長 齋藤健司氏

●入場料 500円（塾生無料）

●（公財）立教志塾 ☎2727

不動産鑑定士による無料相談会

（公社）福島県不動産鑑定士協会では、市民の方を対象に同協会所属の不動産鑑定士による無料相談会を開催します。

●日時 4月2日（土）/午前10時～午後3時

●会場 りぶらん地域交流会 議室（道場小路）

●相談内容 不動産の価格等に関すること

●同協会 ☎024-93114360



市長の手裡え帖
白河市長 鈴木 和夫

『からくり人形とロボット』

早いもので大震災から5年が過ぎようとしている。皆様のためなめ努力と、不屈の精神に敬意と感謝を申しあげます。また、改めて犠牲となられた方々の御霊に心から哀悼の意を表します。

先頃県は新たな産業振興策を打ち出した。ひとつは、世界で飛躍的に需要が高まる航空分野への参入。航空機は先端技術の集まり。関連部品は自動車とは桁違いで、多くの雇用も見込まれる。もうひとつはロボット産業の集積。少子高齢化で働き手が減少する中、ロボットは製造・介護・農林・建設業で作業の効率化、肉体的負担の軽減に大きく貢献する。

特に本県は原発の廃炉という、困難な課題に向きあう。長く過酷な作業を伴う現場では、災害用ロボットの投入が待たれていたが、この実用化に向けた施設を整備するという。また国と共同でロボットの研究所もつくる計画もある。誠にタイムリだ。本県は岩手・宮城に比べ特異な状況に置かれている。だからこそ、悲惨な災いをバネにし、未来への道を切り拓く気概が求められている。知事の「進取果敢」な手腕に期待したい。

ロボットはどんどん進化し、生活や産業を変える。これに人工知能やITが融合することになれば、想像を超えた世界が広がるものと思われる。

ロボットは百年ほど前、チェコスロバキアの小説家カレル・チャペックが、戯曲で用いたのが始まり。ある工程を自動的につづけたものを指す。ロボットは近代文明の所産であり、どの国にも存在している。しかし地域によって、その視線は異なるようだ。

私達は、新しいテクノロジーを抵抗なく受け入れる。ロボットに「花子」とか「百恵」と名をつけ、今日の花子ちゃんや百恵が悪い、といったりする。鉄腕アトムやドラえもんは、人と思いの疎通ができ、安心できる仲間になっている。

日本人は、山川草木全てに神をみている。日常用いる道具とも心を交わす。人を扱うように、使い古した縫い針・筆に感謝し、神社や寺に納め供養する習わしがある。江戸時代の百鬼夜行絵巻には、傘、琴、蒲団、瓢箪らが、意思や感情を持った生き物のように、ぞろぞろ歩く姿が描かれている。日本人の心の底には、アニミズム的精神が息づき、これと最先端の技術がうまく折り合っている。

一方、西洋では事情が違う。ロボットはチェコ語の「強制労働」に由来するように、辛い嫌な仕事をさせられる存在。人の仕事を奪うことへの不安もあるが、根底には、機械が人の領域へ入り込むことへの懐疑と反発がある。創造主である神が創った世界では、人間とそれ以外は明確に区別される。僕たちは考えられない。もしロボットが意思を持つようになれば、人間に敵対するのではないかと身構える。

日本人は新しい技術への好奇心が強く、これを改良することに熱心だ。16世紀半ば、鉄砲が伝わり、またたく間に世界有数の保有国となる。戦国期、滋賀に国友という、高性能の鉄砲を生産する土地があった。優れた職人集団が分業し、村全体が工業団地のようだったという。

同じ頃、機械時計が入る。西洋は1日を24等分する定時法。日本は昼と夜を等分する不定時法を用いていた。当然昼と夜、季節で時間が異なる。そこで、速さを自動的に調整する技術が必要となる。その最高傑作が、「からくり儀右衛門」と呼ばれた天才発明家、田中久重作の万年時計。曜日、二十四節気、旧暦の日付など、時の概念と卓越した技が凝縮されている。

和時計の精巧な技術を遊びに使ったのが、からくり人形。江戸のロボットといえる。手に茶碗を置くと客の方に歩き出し、茶碗を取ると止まる。客が再び戻すと向きを変え主人の元に帰る「茶運び人形」。矢立てから矢を取り、つがえて的を射る久重作の「弓曳き童子」。一本は外れるような仕掛けになっているというから驚く。自動制御を内包した可愛らしい人形は、大衆の喝采を浴びた。

久重は、蒸気機関車や蒸気船の模型もつくった。明治の初め、技術開発を急ぐ政府の招きで九州から東京へ出る。70歳を過ぎていたが心はたぎる。万般の機械考案の依頼に応ずると、銀座に電信機会社を興す。後に芝浦に移転し、東芝の前身となる。万物に神霊を感じる心根と、脈々と受け継がれてきた技術の遺産は、今後ロボット大国日本を支えていくものと思う。